

事務事業 No./名 称	■サービス部門 防安-05 交通安全対策事業 □支援部門									
主管課	市民安全課				関連課					
分野名	地域安全									
目標 (目標値)	・警察等関係機関、団体と連携して、交通事故を防止する。 ・交通安全計画の推進(交通事故による年間の死者数を0人とする)。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	25,345	22,626	18,255						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	25,345	22,626	18,255						
	人員配置数	2.5人	1.8人	1.8人						
	人件費(千円)	19,713	15,339	15,386						
	協働の パートナー	鎌倉・大船警察署 鎌倉・大船交通安全協会他	鎌倉・大船警察署 鎌倉・大船交通安全協会他	鎌倉・大船警察署 鎌倉・大船交通安全協会他						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	45,058	37,965	33,641						
	市民1人当 りの経費(円)	254	214	190						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	鎌倉市	横浜市	横須賀市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	逗子市		
	人口(人)	173,907	3,697,035	412,739	416,832	236,803	259,179	57,915		
	死傷者数(人)	831	15,494	2,078	2,166	999	1,826	251		
	率	0.48%	0.42%	0.50%	0.52%	0.42%	0.70%	0.43%		
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
市内交通事故発生件数	◎	目標値	900	900	900	900	900			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	918	859	756	720				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
交通安全対策事業	25,345千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	市内交通関係機関及び団体と協力し、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止に努めた。 通学路等の交通安全として、道路のカラー舗装等の安全対策を実施した。 富士見町駅下横断歩道に交通誘導員を通学時間帯に配置した。			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	高齢者・二輪車・自転車の関係する事故が、高い割合を占めている。		
課題解決のための取組	警察署等の関係機関・団体と連携しながら、交通安全キャンペーンや交通安全教室を実施した。 自転車の安全利用を促進するための、「鎌倉市自転車の安全利用を促進する条例」を制定した。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	市内の交通事故発生件数は減少しているが、高齢者・二輪車の関係する事故件数は微増している。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価と今後の方向性							
中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
		②妥当性	○		 A	交通安全教育・啓発活動の充実。 自転車の安全な利用の促進に関する施策の促進。 防犯教室と連携した、高齢者に対する交通安全教育の充実。	課長等名 市民安全課長 高木 明
		③有効性	○				
		④公平性	○				

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
交通安全対策事業	主な個別事業	1031 交通安全教育指導員報酬 3人	4,620	4,620	○	○	○	○
		1031 自転車教室指導員謝礼	496	472	○	○	○	○
		1031 交通安全教育指導員費用弁償	425	392	○	○	○	○
		1031 スクールゾーン対策業務委託料	7,500	11,788	○	○	○	○
		1031 富士見町駅下交通誘導業務委託料	620	568	○	○	○	○
		1031 鎌倉市交通安全対策協議会等補助金	7,400	7,010	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							